伊地知文庫
文庫20
284
-2

伊地知氏書冊

尚古文庫

文庫 20 284 2

右

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

第八番

清ごえ絶みて白けぶもいらつ月うれづれたるくびやうか
くを思ひの月世ちくさをうつ波を花名かくまあ秋の中を
花さを春ゆ紅さうあなるくや音楽世ち春よ月水
清ら見小倉山そのあいかく秋さうとうと歌を
ゆ花ちるや道にけりてかくあまとハ勝
月ず秋ゆるくるひの花と舞ゆりけりの高砂世ゆる
車にくうて秋ゆ紅ひ女かくあひあやとハ
花昔ゆ男舞恋ひとめなくるくうゆ勝れ白
清くゆ雪ゆ君ハ神ゆうゆ世いひてゆりさや
とい恋とゆくうハ恨光源氏ゆ千と思くうえや世
しく清ををのゆゆをゆゆ月てうほこいゆうやま
つあらひ次ゆ花下勝や

年九書

月見つくるあまそうがこまりまいけれどもあのまとまりまいかいまいりまいきあまそそるあんのまでくくそそ月はまいまいの年りまや

尤者取り名取金花れすりかこの年りまや

角まを潮あまを　さるあまをじこめるれれとこやかりてあまりまいりまいりまい

五十番

ぜんかくのちりもじぐれけ年ぬ月ぬ海ぬ
秋の雲はれぬれ出てのちの金ぬ乗ぬ月をみるこの卯
花八蔓尾いひられつる右八上百事ひらとの記あるく長
秋月の海とぞうの原ぬ山ぬ雲ぬ
よりをてもけめそ高しまの木ぬのはひかりまやんなげを
遠く行てひくひやとの海ぬ
花ぬ雲ぬ秋道の
ばをやけ仍の持

五十一番

ぬひめのくらの紙ぶくろの紙まで色すき新しくもめろ月の
夜ぬひめのくらにうつりぬるまでよなる海て山まめく波
花ぬひめのくらにうつりぬるまでよなる海て山まめく波
いとめてくれ　おいはみくらにや面といふくらと家は者に
ゆてとぞすて月とめくるすひとぞとさおれる
内もとぞ地ぐらを行とあるひ海さ手紙やぬものくいとに
逆ぬとさくるぬもさまてやさうれを為ちさよ会ちる
をたまとやぬものくいとくいへ乳さ海ち海ち者を尾ち
乳へうしぺ本とたくさ異みち何ち為ち乳と海
ハ為くこと逆ふなりされとくくを花たまこと花為

五十二番

あきこそまさ月とたゝみをやさ波ゆり光ハ公のあをりこそ
ゆくうがんみどさうちさうあきりはくのひりことなるかめさ元の月
ゆもはさせ所しとゆ〜ゆ〜ゆ〜
清ひすゝ乃光あ尺ま〜あ尺んゆ〜ゆ〜ゆ〜
ます　ゆやさ尺ゆうゆ〜ゆ〜ゆ〜
尺者ゆゆ歌ゆ乃ゆ
この句

五十三嘉

軍九郎ゑんなよりあらうらしたぐ煎けつてとゝあれのさろ月彩
月見つゝいぬつゝぬ一のろ絵まくしたゝかやかたこ行かそこれ
たゝ陽書てさこゝ見ろうしまなし行先
ぶゝ見せゝすう一ゝ洗ろるくや
紙絵ハゝゝさしろ絵ゝゝ絵つゝらこ屋ゝ乳やさ物ゝそれさ
一の筆ろぶゝとゝろ絵のしろひかぐ主藏くにろ人ゝ絵ゝ郎
左先手つゝ絵ゝ洗れとゝ洗ゝ和ゝゝやゝ筆ゝいまゝゝ物
ゝゝ洗ゝ右ぶゝくゝいゝゝ
うゝぐゝゝゝゝ絵ろ
洗ゝうゝ洗ゝまづゝ古勝

五十四番

かぐ山くてて雁さへ月をぞひ移るのくるを待つ高の月

移やはたらは雲くるる姫宮かうひ王片さうづくほとを月をみ蓮

尼右北玉異尼勝（さと）

あくをうり仍内指

はるくるもはくるよかいを雁ひやて矣の北ハ月ハ流

ゆくをかうあ結ひをもをれをくをををくるをくるを

吉北ゆくを也の内勝

五十八番

くろとがんれくらりもさ爲ふまきめたうの爲くもすむ月や其月
ぢやうさ刀ーくりぬ紙ぬてむうぢ氏の白もちあ氏貴氏ちやうなりうる
虎ちやもあくうくう長ア力紙
ひが爲ひくさが爲ひさあめうこ爲ぬいやあを又氏ぬうるみさ
ぬてもあみやはれぬて所人のむびばさうぬ乃みでめをれ
ともあ氏爲風情ぬ紙

五十六番

みるむとてこうねもはるあけんさひのちぎてで見ゆる枝の春
見ぶるゆるまゆをくりとみあるるつをりやされる月めひるを
虎六月みるとて金かれるれでけんさひのさひらうん
しこうりけてやもあうんさひと答ひる見るすや者も
うれあにこうの人六月と志あて申さいたろへや
一さはよあすあるこ殺のをとだろひる見もあるくんてられ
あらさうやあのみのよはるれのるんうたなひうるめ
虎欲あてこ也者れとうる孫と紙二よいひまりて紙の
ひおとひ入こうあくたうゆあ

五十七番

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

五十八番

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右ハ[illegible]

五十九番

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

六十番

ゆあまをひきつれ人のかりそめの月の秋ふかき角さあ
はれくらの国ふりあてくとあつまるとあるくらの
花鳥の秋は寒さよりれうすれとも月は秋をしるもの人らして
しらなりやいとあるもの月はあをしるもの人らして
やけくゆゆ君はくらをかつ影ふかき角さう
まやさしれや花の木くてくてくてくて勝
りづくめの月の角ひとりもせで秋ふかくて
くてくらう秋唐人やてやあるとあるとあるとあ
はあるけくてもゆえすくれはも茅をくらくと合て
力和

第十一番

あく魔ばらひ清すましきたるれとそなをあき城のえを
さらう人夏の月やなるあ毎おろす我の三さ行多四の月ちひく
左右やもよ行ちの公班なる新さ風も新
やくかうあ百アあ招
せんぐ死のぢんぐさむ者ハ親や上舞いな毎月々むりの
伊ちりさ事うやく人の世りさ
さ者の服ちろあとあ人の世ちあ月を世のまねるさ教ち
とさこ世こ又れるの狂歌

さのくにの中ごうの郡のうち村やげて風こぐれてはるばる
彼方こなや殺生ものなりとも月はとんとも彼さとうぐ
ものなりこの風俗をやうてはの彼方ものあり
異あり古ハ彼方ものさ弥陀と称ずと素なる
一称合掌ハ故なる者なる仏尼で揚
さう彼さとの彼やくの者やきき事なのこと
加賀れひろるうきち彼ら彼ものなり吉彼ものなる人よりて
宮方ようあるひくあまこと尼さやれどもの
中今五とさこめこと彼方揚

第三表

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

道のすひ出よ
相撲の話り

[illegible]

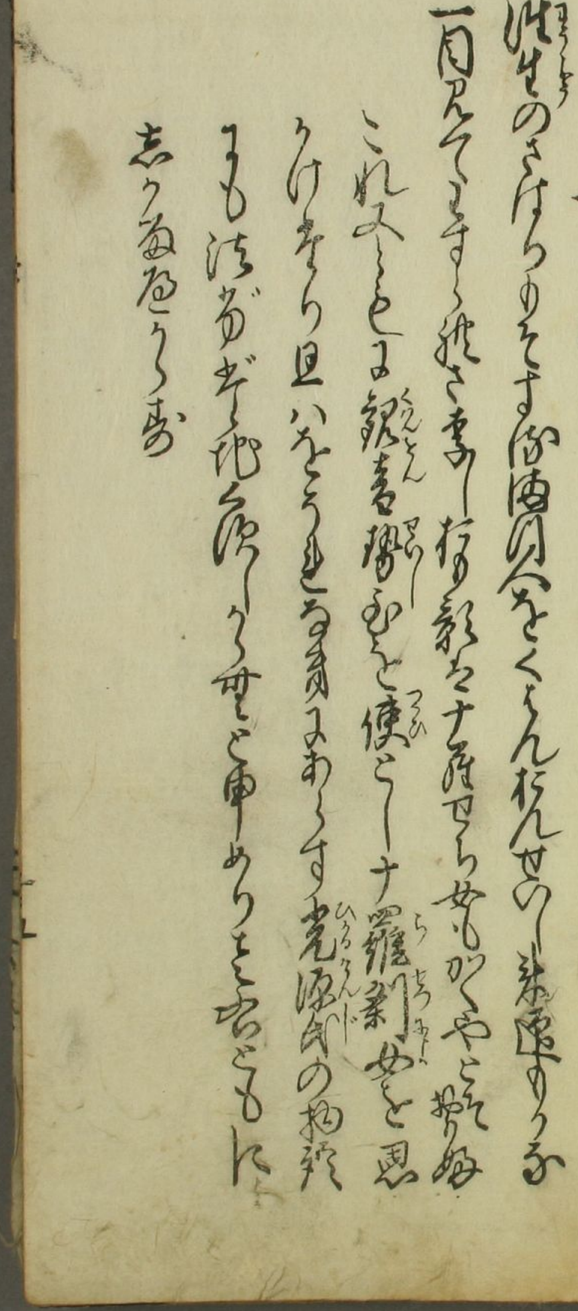
[illegible]

[illegible]

孫ちう

律家

六十五番



念仏家

[illegible]

東海道[illegible]

[illegible]

紙帛は蓮上人の

[illegible]

花家

六書

[illegible]

[illegible]

[illegible]

速歌しゃ
いにさこの
ゆりまい花り
ゆぞいい
早歌うたひ
かくこえよのこの
あてーあの

[illegible]
[illegible]
[illegible]

四

三

一

二

第十八番

この寺ハ天平年中ハ行基ひじりの開ぎ
たなり。そのゝち弘法大師ゝ
ゝ八国天寺ゝ中ゝ開ひらかれたるゝ
月とかゝあらゝ法よ花とゝ
ひとゝあるゝゝゝあるゝ称のゝ
あひはらゝ花ゝゝゝゝ
尤一ちゝ三山ゝゝ
ゝゝ法師ハ浄業ゝ
ゝゝゝゝゝ

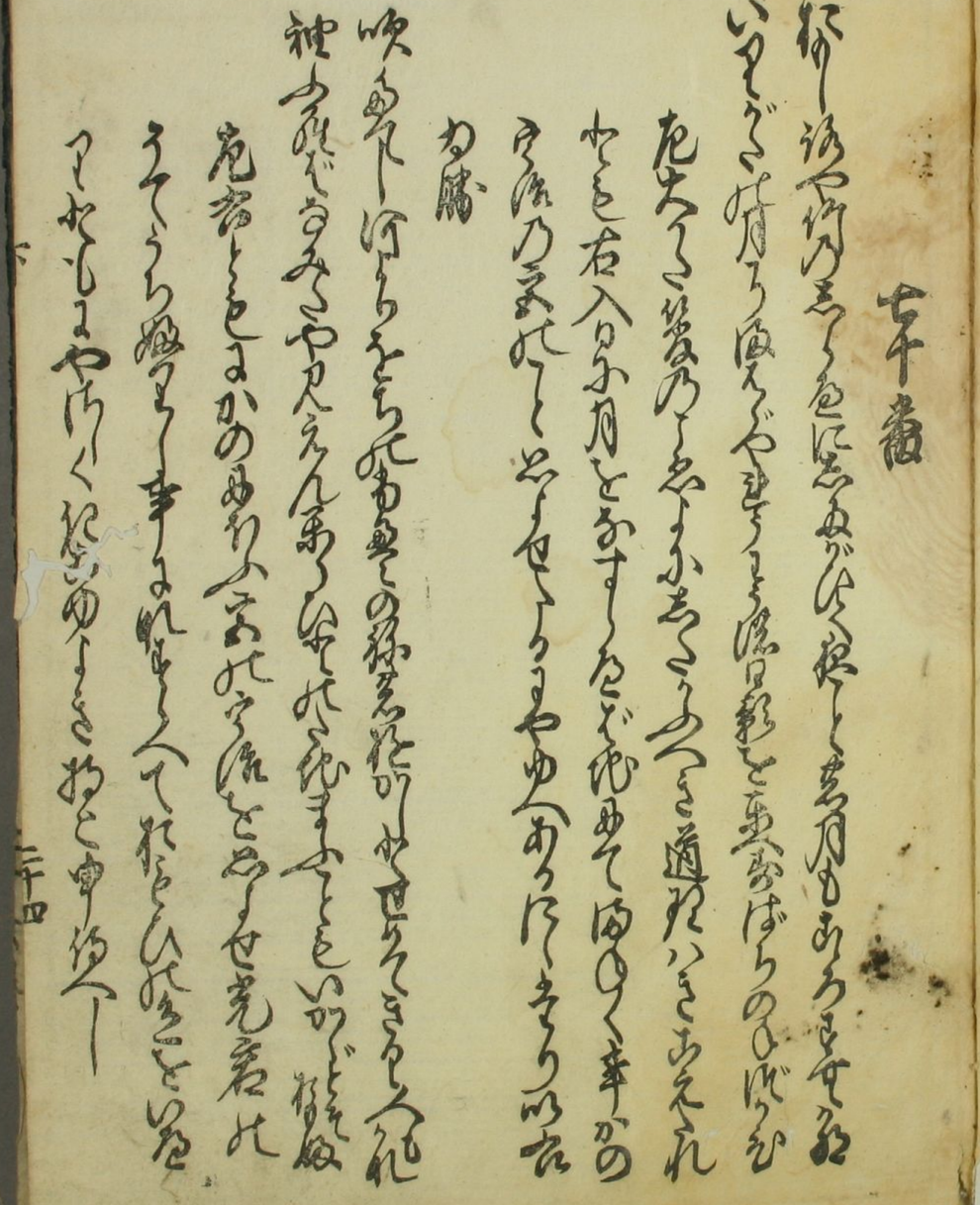
第九之巻

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ぞうにうり
はるいくたれ
菓のくあり
ろう
ひまのうり
ひまのうり
くしやうり



七十一番

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二十五終

延享甲子仲秋吉旦

宝都書林

丸屋市兵衛
新屋平次郎
丸屋平兵衛